

NAGASAWA 製品をご採用いただき、ありがとうございます。

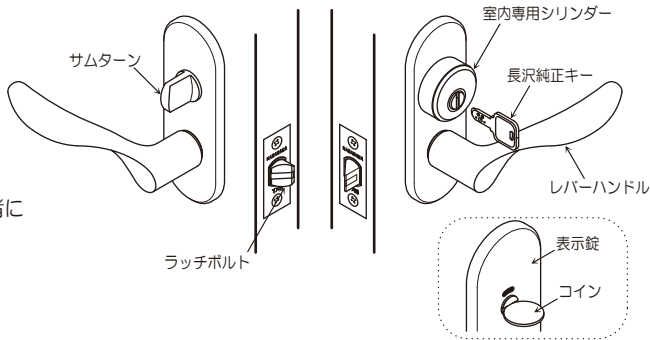
製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。お読みになられた後は、いつでも見られる場所に保管してください。

## 取り付けは正しく

- ① 製品本来の性能を守る為に、扉への切り欠き加工や製品の取り付けは、同梱の取付説明書にそって正しくおこなってください。  
指定外の切り欠き加工をおこなうと、錠本体が破損することがあります。
- ② 取り付けは、同梱のねじを使用してください。
- ③ 手動ドライバーで取り付けてください。電動ドライバーは使用しないでください。ねじ頭が破損したり、締めすぎによる作動不良の原因となります。
- ④ 重いドアへの取り付けや、強力なドアクローザー付きのドアでの使用はおやめください。錠に過大な負担がかかり、故障や破損の原因となります。

## 基本の使い方

- ① 施錠するときはサムターンは最後まで回し、キーはシリンダーの奥まで差し込んでから回します。レバーハンドルを操作して、施錠されていることを確認してください。
- ② 非常の場合、間仕切錠、表示錠ではコインを室外側のプラグの溝に入れて回すと解錠できます。
- ③ 扉の垂れ下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など、異常がありましたら専門の業者にご相談ください。



## 危険防止のために

- ① レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物をかけたりしないでください。ケガをすることがあります。
- ② レバーハンドル、錠のラッチボルトにぶつからないようにしてください。ケガや転倒をすることがあります。
- ③ 受座の穴などに、指や手をいれしないでください。指を切るなどのケガをする場合があります。



## 取扱上の注意

- ① キーを施解錠以外に使用しないでください、キーに曲がりやキズができると、施解錠ができなくなる原因となります。
- ② キー穴に油や異物（紙、布、針金、接着剤など）を入れないでください。故障の原因となります。
- ③ キーは長沢純正キーをご使用ください。複製キーの使用は、キーの抜き差しや回転操作が鈍くなったり、シリンダーの耐久性を短くする場合があります。
- ④ ラッチボルトを突き出させた状態で、扉を閉めないでください。ケガのおそれがあるだけでなく、扉枠の損傷やラッチが変形する場合があります。
- ⑤ 錠の改造、分解をしないでください。中の部品が飛び出してケガをするおそれや、正しく組立てなおすことができなくなる原因となります。
- ⑥ キー穴や錠ケース内部に潤滑剤を使用しないでください。ほこり等が付着し、作動不良の原因となります。
- ⑦ レバーハンドルや座などにキズをつけないでください。錆や腐食の原因となります。
- ⑧ 両開き扉など、片方の扉のハンドルが固定されているものがありますので、無理な力で開けないでください。
- ⑨ 枠側（両開き扉の場合は片方の扉）に取り付けてある受座のリップの飛び出しが大きい場合は、取付業者に依頼して、適正な受座に取り替えてください。身体をキズつけたり、衣服を引っ掛けるおそれがあります。
- ⑩ レバーハンドルを下げきれないうちにドアを強く引く等の使用はおやめください。錠の破損の原因となります。
- ⑪ レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物をかけたりしないでください。錠やレバーハンドルの変形や損傷の原因になります。

## 長くご使用いただくために、お手入れ方法

- ① 表面は、柔らかい布でからぶきしてください。水はかけないでください。汚れのひどい場合は、薄めた家庭用中性洗剤で拭き、それ以外の化学薬品は使用しないでください。
- ② 錠、受座、レバーハンドルなどの取り付けねじがゆるんできたら、ねじの増し締めをしてください。そのまま使い続けると、製品本来の機能と耐久性が維持できなくなったり、故障や破損の原因となります。
- ③ キー穴にたまったゴミやホコリは掃除機で吸い出すか、パソコン用のエアスプレーで吹き出してください。作動不良の原因となりますので、スプレーグリス等は使用しないでください。
- ④ キーの抜き差しや回転操作が鈍くなったら、黒鉛粉または鉛筆（柔らかい芯：B、2B 程度）の粉をキー穴に入れてください。さらにキーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーをシリンダーに入れ、抜き差しを数回おこなってください。作業後、キーとキー穴に付着している黒鉛粉は、柔らかい布等で拭き取ってください。

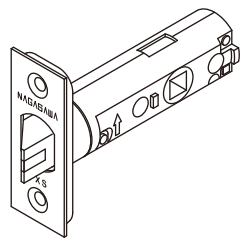
## ご理解ください

ていねいにお使いいただき、適切なお手入れをしていただいても、製品には性能維持の限界があります。

長沢製室内ドア用錠の保証期間は、1 年です。ただし、扉の使用頻度、使用環境によっては、保証期間内でも保証されない場合があります。製品の能力を超えたご使用は、故障や事故につながります。

製品を安全にお使いいただくためにも、定期的な点検をおこない、使用中に異常を感じたら早めに、ご購入いただいた販売店または裏面に記載の営業所へご相談ください。

## 室内ドア用チューブラ錠 TXS 錠の性能



チューブラ錠の特徴	取り付け加工が簡単です 箱錠と比べると耐久性が低い
取付対象扉	軽量（25kg 以下）
用途	一般住宅の室内 （不特定多数が使用する所には使用しないでください）
錠本体の製法	亜鉛合金のダイキャスト
開閉試験	20 万回
ハンドルのねじり試験	15Nm
ラッチボルトの側圧試験	2000N

JIS 規格に基づく自社試験データ（性能の保証値ではありません）

## 室内ドア用チューブラ錠 TXS 錠の特徴

室内ドア用チューブラ錠 TXS 錠は、錠の内部が破損しても、安全側に機能するフェイルセーフ設計を取り入れた錠です。

TXS 錠は、レバーハンドルに過度な負荷や強い衝撃がかかり錠の内部が破損すると、フェイルセーフが作動し、ラッチボルトは錠内部に引き込まれたまま固定されます【トラブル回避】。

また、ラッチボルトが引き込まれたままになることで、お取り替え時期をお知らせします【安心交換アナウンス】。

### 【通常使用時】

従来品と同様にお使いいただけます。

### 【錠の内部が破損すると】

レバーハンドルに過度の負荷や強い衝撃がかかる。必要以上の回転トルクを与え金属疲労が生じた時、通常使用での部品摩耗等による経年劣化で錠内部が破損した時に、錠の安全装置が作動します。

### 【安全装置作動】

錠の安全装置が作動すると、錠のラッチボルトが引き込まれたまま戻らなくなります。これにより扉が開かなくなるなどのトラブルを回避することができます。

### 【安全装置作動時の対処方法】

確認：扉の小口面に取り付けてある金物に『TXS』表示があることを確認します（フェイルセーフ製品の確認）。

現象：レバーハンドルを戻しても、錠のラッチが扉側に引き込まれたまま出てこない。ラッチが引き込まれたり戻ったりを繰り返す。こんな時は安全装置が作動しています。

処置：錠の安全装置が作動したら『錠のお取り替えサイン』です。速やかに、錠の交換をおこなってください（専門の業者にご依頼ください）。

### 通常使用時



レバーハンドルを戻せばラッチも飛び出す



### 安全装置作動時

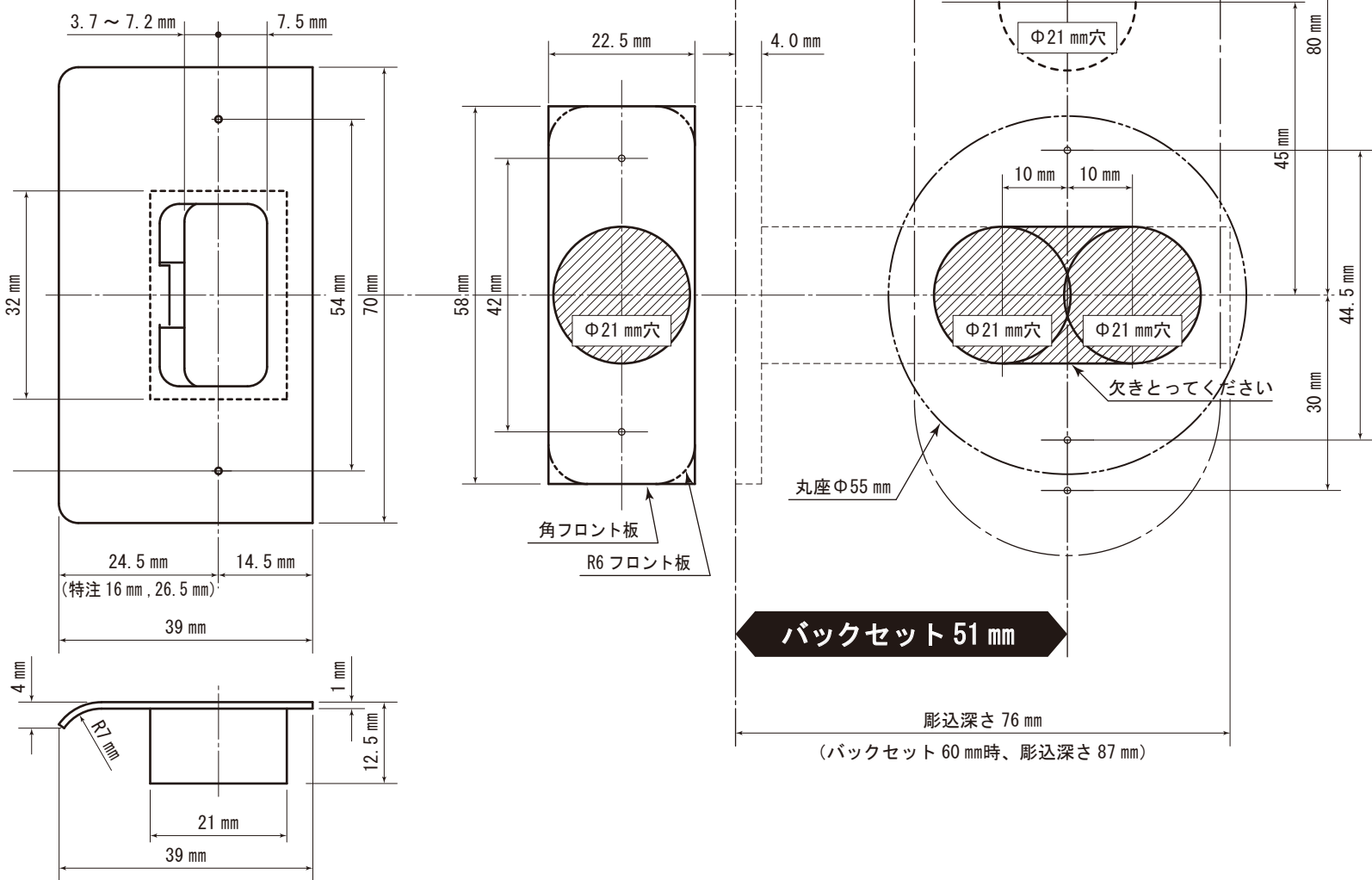
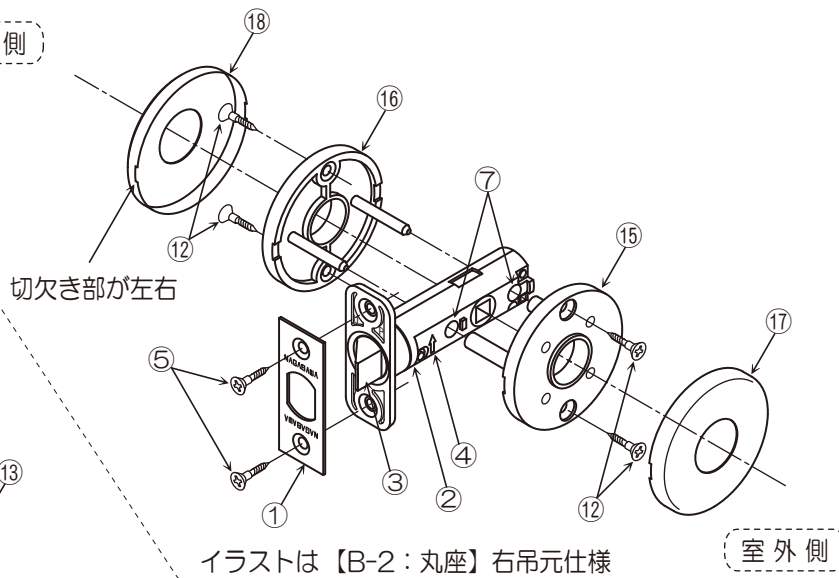


レバーハンドルを戻してもラッチは引き込まれたまま戻らない

## 取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。  
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。

※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



- A：吊元の確認と錠の取り付け

  1. 「左吊元」の場合は、フロント板①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻してあわせませす。
  2. 錠②を矢印④を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
  3. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ⑤2本で取り付けます。

B-1：小判座の取り付け

  1. 室内側補強座⑥の脚部を錠ガイド穴⑦に差し込みます（セット時、サムターンツマミ⑧は縦向き）。
  2. 室外側補強座⑨の脚部を室内側補強座⑥の脚穴へ差し込みセットします。  
（表示錠の時、表示⑩は緑、キーブラグ溝⑪は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は右上イラストのようにセットします）

⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。  
補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーの動きに支障がでることがあります。

  3. 補強座を固定ねじ⑫4本で取り付けます。
  4. 仮固定のレバーをはずし、小判座カバー⑬⑭を嵌め込みます。上下『切り欠き部が下』に注意します。

B-2：丸座の取り付け

  1. 補強座室外側⑮の脚部を錠ガイド穴⑦に差し込みます。
  2. 補強座室内側⑯の脚部を補強座室外側⑮の脚穴へ差し込みセットします。

⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。  
補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーの動きに支障がでることがあります。

  3. 補強座を固定ねじ⑫4本で取り付けます。
  4. 仮固定のレバーをはずし、丸座カバー⑰⑱を嵌め込みます。丸座カバーの『切り欠き部が左右』に注意します。

C：レバーハンドル  
の取り付け

  1. 角芯棒付レバーハンドル⑲を錠角穴部⑳に差し込みます。反対側レバーハンドル㉑をセットし、TPねじ㉒で固定します。※レバーハンドルのガタツキがないよう、しっかりと取り付けてください。



株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092